

疎開先での自殺未遂のこと

匿名希望（祖父から聞いた話）

88 歳祖父のエピソードです。

戦争で家族を亡くし、8 歳の時に親戚の家を転々としました。そこでは酷いいじめを受け、ニワトリ小屋で寝かされる日々が続いたそうです。「こんなにつらいなら…」と絶望し、猫いらず（殺鼠剤）を飲んで命を絶とうとしたそうですが、翌朝ニワトリの鳴き声で目を覚ましたそうで、生き延びたのは「生きろ」という導きだと思って、それからは必死に勉強し、少しでも賃金の高い職場を求めて働き続けたそうです。